

夏期特別展 「湘南のキノコ」

1991年7月20日～9月1日（月曜・月末は、休館日）

森の妖精、キノコたちの不思議な世界をのぞいてみよう！

●キノコにはいろいろな形のものがある

秦野市立西小学校の生徒の皆さんに、頭に思い浮かぶキノコの絵を書いてもらいました。

ほとんどの人が書いたキノコの絵は、赤くて大きなカサがあってカサの上には白いぶつぶつがあるものでした。たしかに童話の本に出てくるキノコはだいたいそんな色と形をしています。これはテングタケというなかまのキノコをモデルにしたものです。



しかし、森に行ってみると見つかるキノコの形はいろいろです。枝分かれたもの、コップのようなもの、幹にべとっとはりついたもの、それぞれがみんなりっぱなキノコなのです。この特別展では、キノコの変化にとんだ色や形を見て頂きたいと思います。

●いちばん大きなキノコは？

神奈川県で見つかるキノコでいちばん大きな種類はニオウシメジです。昨年大和市で県内で4回目の発見がされましたが、300本ほどのキノコが束になった全体の重さはなんと40kgもありました。その一部が博物館に寄贈され、標本として保存されているので展示する予定です。

●キノコはどこから生えてくる

キノコという名はもともと木に生えることから「木の子」の意味でつけられたようです。しかし、キノコは枯木に生えるだけではありません。キノコをどこから生えてくるかで大きく分けると次のようになります。

・枯木に生えるキノコ

体がやわらかいキノコ

・・・シイタケ・ナメコ・キクラゲなど

体がかたいキノコ

・・・サルノコシカケ類など

・地面に生えるキノコ

落葉や枯れ枝から生えるキノコ

・・・オチバタケ類など

樹木の根と共生して菌根を作るキノコ

・・・マツタケ・テングタケ類など

昆虫などに寄生するキノコ・冬虫夏草

どのキノコも枯れた植物などの有機物を分解して土にかえす役割を果たしています。

●毒キノコはすぐ分かる？

毒があるかどうかを簡単に調べる方法はありません。代表的な毒キノコをしっかりと覚えるのがいちばんなようです。中毒の多い、クサウラベニタケをよく見てかえって下さい。

●記念講演会 博物館講堂・入場自由

8月4日（日）午後1時半～4時

「キノコをつくる」

講師：七宮清氏（神奈川キノコの会）

・エノキタケなどキノコの栽培についてのお話

●キノコ鑑定会 博物館科学教室・入場自由

9月1日（日）午前10時～午後3時

講師：城川四郎氏（神奈川キノコの会）

・名前を知りたいキノコを上記の時間内に自由にお持ち下さい。

キノコ展 みどころ・ききどころ



●キノコの標本はどうやって作る

特別展の会場には約200点のキノコの標本が展示されています。これらの標本は神奈川キノコの会のご協力で、この2年間の間に収集され、博物館に保存されているものです。

キノコの標本は、普通電気で乾燥して作ります。一度水分が抜けると、長期にわたって保存することができるのです。キノコにはかたいものとやわらかいものがありますが、もちろんかたいキノコの方が形や色がよく残ります。ですから標本は特にサルノコシカケ類などをじっくり見て下さい。

博物館には現在約450種類のキノコの標本がありますが、これは博物館としては全国でもベストテンに入る資料の数と思われま



●冬虫夏草の不思議

キノコは普通死んだ動植物の遺体を分解して栄養にしていますが、ごく例外的に生きた動物に寄生する種類があります。それが冬虫夏草の名前で知られるバツカクキン科のキノコです。今回の展示では、クモタケ・セミタケ・ガヤドリナガミツブタケ・ツクツクボウシタケ・ミンミンゼミハリセンボン・サナギタケの6種類を紹介しました。見れば見るほど奇妙な冬虫夏草に注目して下さい。

●巨大なキノコ、ニオウシメジ

神奈川県で見つかるいちばん大きなキノコはニオウシメジです。昨年大和市で県内4回目の発見がされましたが、発見者の井上好幸さんがご好意で重さ40キロもあるキノコを博物館まで運んで来て下さいました。今回展示したのは、その一部を乾燥標本にしたものです。

数百本のキノコが重なり合っているようすは、本当にみごとなものです。しかもこのキノコはおいしく食べられるので、見つけた人は大喜びするようです。標本にと運んで下さった井上さんには感謝の言葉もありません。

●キノコグッズあれこれ

大磯町の曽根田正己先生にお借りして各国のキノコにちなんだ民芸品を約20点展示しました。同じ置物でも、イタリアは大理石でできている、メキシコはちょっと不気味な模様がついている、ドイツはオルゴールになっているなど、お国柄が現われていて楽しいものです。

別のケースには中米グアテマラのキノコ石のレプリカも展示しました。これは呪術的な意味のある石像のようです。

キノコとの親しみ方も民族によって大きく違うようです。

●講演会「キノコをつくる」

日時：8月4日（日）午後1時半～4時

会場：博物館講堂 入場自由

講師：七宮清先生

厚木市七沢にある神奈川県林業試験場では、キノコの栽培の普及に取り組んできました。ヤナギマツタケの栽培に成功するなど、大きな成果もあげてきています。七宮先生は長年試験場でその仕事にたずさわってこられた方で、今回の講演会では、キノコの栽培の面白さ、難しさを中心に、私たちの生活とキノコの関わりについてお話頂きます。



●キノコ鑑定会

日時：9月1日（日）午前10時～午後3時

会場：博物館科学教室 入場自由

講師：城川四郎先生

名前の分からないキノコを専門家に調べて頂く会です。庭木についているサルノコシカケなど、日頃名前を知りたいキノコのある方は、上記の時間内にそのキノコを持ってきて下さい。食べられるかどうかの相談にも答えて頂けます。